

コロナ禍がもたらした子どもたちの心への影響について

代表質問

石黒党・議員／質問

令和3年11月に閣議決定した「2021年版自殺対策白書」には、令和2年は児童・生徒の自殺者が499人で過去最多とあります。令和3年10月に文部科学省が公表した「令和2年度の児童生徒の問題行動・不登校等調査」には、全国的な傾向として、パソコンやスマートフォンなどによる誹謗中傷といった「ネットいじめ」の認知件数が1万8,870件と過去最多。「GIGAスクール構想」で配布されたタブレット端末のチャット機能を悪用した「いじめ」も確認されており、対策が急務としています。

県における「いじめ」の千人当たりの認知件数は114人で、全国最多です。全国最多と聞くと残念ですが、「独自の調査で行為の大小に関わらずに対応している」県の対応は、むしろ評価できます。「い

じめ」は事実を明らかにし、しっかりした対応策を講じることが重要です。また自殺については本県児童生徒の統計数字を認知できませんが、先の酒田市の中学生のことが、とても悲しく残念でなりません。ご冥福をお祈り申し上げます。

県は、コロナ禍がもたらした子どもたちの心への影響をどのように分析し、今後どのような対応が必要と考えていますか。

一方プラス面の影響もあります。コロナ禍でリモート授業への整備が進み「不登校の児童生徒がリモート授業によって、学習に取り組めるようになった」という話を聞くことがあります。リモート授業システムを活用し、不登校児童生徒の学習意欲向上を図り、社会的自立に向けた支援の一助とすることも必要ではないかと思えます。教育長の考えを聞かせてください。

教育長／答弁

最初に、亡くなられた生徒の方のご冥福を心よりお祈りいたします。コロナ禍では、全ての児童生徒が何らかのストレスを抱えていると考え、一人ひとりを注意深く見守り、対応する必要があると考えています。令和2年の一斉臨時休業後から、小中学生を対象に心のケアなどに関する調査を定期的に実施しています。それによると登校再開後は、小学校では友人関係に関する相談が多く、時間の経過とともに「いじめ」に関する相談が増えました。中学校では、学校生活に加え、学習や進路に関する相談が多くなっています。また「ネットいじめ」にも注意していく必要があると考えています。低学年の児童は、ストレスや不安が「いじめ」に直結する傾向が見られることから、子ども同士のふれあいを大切にするために、体験的な活動や行事などの機会を確保するように努めています。中高生は、未然防止に向けた生徒

会による主体的な取り組みなどもあり「いじめ」が減少していますが、悩みや不安が内在化していないか丁寧に対応する必要があります。

県は、スクールカウンセラーなどの活用に加え、児童生徒の小さなサインを見落とさないよう、市町村とも連携しながら、チェックリストやアンケートを活用した、悩みや不安の早期発見と解消に向けた取り組みを丁寧に進めたいと考えています。

さらに「GIGAスクール構想」が前倒しされ、1人1台端末の整備が進み、不登校や保健室などの別室に登校している児童生徒に授業の様子を配信するといった、オンラインを活用した対応も行われ始めています。これらにより、子どもたちは教室の様子を感じることができ、少しずつ教室に足が向くようになってきたという報告も受けています。今後、このようなICTの効果的な活用により、個別最適な学びを推進し、児童生徒一人ひとりを大切にした指導を進めていきます。

活動日誌 石黒さとる

令和3年11月19日(金)

第15回庄内地域活性化フォーラムに出席(鶴岡市)

国土交通省の小田原雄一道路部長や担当者の講演を通じて、社会資本整備の現状と今後についての理解を深めました。

令和3年11月20日(土)

日泊道秋田山形県境区間整備促進大会に出席(遊佐町)

平山副知事が知事代理で祝辞を担いました。また、高校生意見発表に感動して、未来を託せる若者に拍手を送りました。

令和3年11月20日(土)

酒田地区広域行政組合消防本部・消防署竣工式に出席(酒田市)

平成26年に移転新築構想がスタート。令和2年1月より待望の新消防庁舎の建設が始まり、防災拠点施設として完成。

令和3年12月7日(火)

12月定例会・代表質問の質問・質疑者を担当(山形市)

「予算編成における県政重要課題と方向性」について「東北公益文科大学の公立化」「コロナ後の酒田活性化」などの質疑を展開。

山形県・令和3年度12月補正予算の主な事業②

健康福祉部 ●ワクチン・検査パッケージ制度の導入(健康上の理由などによりワクチンを接種できない方を対象とした無料のPCR等検査体制を整備)……97,200万円

産業労働部 ●夜間営業の飲食店等に対する飲食業等緊急支援給付金、新型コロナウイルスの影響により売上げが減少し、経営継続が困難となっている夜間営業の飲食店等に対する給付金の支給)……80,600万円

観光文化スポーツ部 ●やまがた冬割キャンペーン事業の拡充(冬季宿泊需要の喚起に向け、やまがた冬割キャンペーン事業を拡充)……60,400万円

農林水産部 ●漁業者の燃油・資材費の負担軽減に対する支援(漁業者の経営の安定に向け、燃油及び漁具・資材の価格上昇分を支援)……2,100万円

就農準備段階での支援内容と自然災害への研修・勉強会について

農林水産常任委員会

石黒委員 ●新規就農者への就農準備段階での支援内容およびフォローの状況はどうか。

農業経営・所得向上推進課長 ●就農準備段階では、国の「農業次世代人材投資資金(準備型)」があり、年間150万円が交付されます。また、農林大学校や農業支援センターで農業の基礎研修講座なども行っています。経営開始段階では、国の「農業次世代人材投資資金(経営開始型)」があり、就農して3年目まで年間150万円、4、5年目が年間120万円交付されます。農業法人で雇用されて就農する場合は、新規就農者に雇用する農業法人を支援する国の「農業雇用事業」があります。県は令和3年度から「元気な地域農業担い手育成支援事業」を展開して、新規就農者が必要とする農業機械や出荷調整する作業小屋などの導入支援などを行っています。農業経営相

談所で経営の相談や農業技術普及や追跡試験を実施。今後、研修会を開催します。また、生産者の防霜や発展に向けた支援に幅広い角度から取り組んでいます。

石黒委員 ●自然災害への研修・勉強会などの支援はどのような形で行われ、どのレベルまで達していますか。

技術戦略調整主幹 ●技術指導のフォローアップは、酒田では産地研究室と総合支庁農業技術普及課、JAが連携してプロジェクトチームを組

み、すでに数回集まって、現地試験や追跡試験を実施。今後、研修会を開催します。また、生産者の防霜や発展に向けた支援に幅広い角度から取り組んでいます。

皆さまのご意見、ご要望をお気軽にお聞かせください。

皆さまからいただいた県政に対する意見、感想や、お困りのこと。そして、未来への願いなどは、今後の県政の質疑や政策づくりに優先的に生かしていきます。

山形県議会議員 石黒 党

事務所 ●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥234-2

Tel.Fax ● 0234-52-2862

URL https://www.isiguro.net/ E-mail. satoru@isiguro.net

庄内の声、県へ国へボトムアップ

1.

Satoru Ishiguro's Press

発行日 ●2022年2月吉日

発行人 ●山形県議会議員 石黒 党

事務所 ●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥234-2

Tel.Fax ● 0234-52-2862

URL https://www.isiguro.net/ E-mail. satoru@isiguro.net

公式Facebook ● https://www.facebook.com/satoru.isiguro.5

公式Twitter ● https://twitter.com/isiguro_satoru

石黒さとる 希望への懸橋

県政報告

令和3年6月7日(月)、県と酒田市の関係者、後藤泉酒田市議とともに酒田市八幡総合支所管内河川砂防設備の危険箇所を現地調査。県民の皆様へ、安全確保が最優先される対策へ、知恵の結集が必要です。

令和3年7月13日(火)、酒田市の「令和4年度酒田重要事業」に関する課題の解決に向けた取り組みを吉村美栄子知事に要望。丸山至酒田市長は「酒田港基地港湾指定に向けた対応について」など。私からも「基地港湾指定は「ゼロカーボンやまがた2050」実現の礎となる、極めて重要な取り組み」と要望。

令和3年11月11日(木)、農林水産常任委員会の現地調査で、クラゲ展示世界一の加茂水族館を訪問。須田剛史料理長のはからいで「庄内産トラフグ」と「庄内産マフグ」の食べ比べができました。水産物の水揚げが年々減少傾向にあります。漁業関係者の元気がでる施策を進めなければなりません。

ワクチン・検査パッケージ対象者全員検査等定着促進事業

PCR検査、抗原定性検査 無料検査実施事業者

ウエルシア酒田亀ヶ崎店

ウエルシア酒田ゆたか店

ツルハドラッグ酒田店

ツルハドラッグ酒田みずほ店

ツルハドラッグ酒田曙町店

ひまわり薬局 ※抗原定性検査のみ

実施期間は、令和4年3月31日まで

山形県議会議員 石黒 党

事務所 ●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥234-2

Tel.Fax ● 0234-52-2862

URL https://www.isiguro.net/ E-mail. satoru@isiguro.net

令和四年寅年が明けまして、県民皆様におかれましては、新たな年夢や希望に向かって、大いなる挑戦へと踏み出したことと存じます。

令和元年(二月八日、中国武漢で新型コロナウイルス感染症発症が報じられてから、昨年二月八日で二年が経過しました。我が国では第五波にわたるパンデミックに陥り、緊急事態宣言やまん延防止措置などが発令され、世界各国ではロックダウンが繰り返されてきました。この間、医療・介護従事者などのエッセンシャルワーカーの皆様をはじめ、多くの方々の献身的なご尽力により、私たちの日常が保たれておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。そうした中、我が国では、昨年の八月後半の第四波のピークから師走にかけて、収束に向かうのではなかったかと思いたくなるほど感染者が激減し、新年は二年ぶりに故郷で迎えられ、多くの帰省者にと時の安らぎが戻ったと思つた矢先、世界各国から感染力が極めて強い「オミクロン株」の猛威が伝えられ、年明けわずか三週間足らずで、感染者過去最高を更新し続け、ついに一日10万人を超える状況となりました。本県におきましては、二月六日に一九五人の感染者となり、感染公表は三十三日連続で三桁台は一日四連続となりました。吉村美栄子知事は、ラムダ株に比べて重症化率は低いものの、若者や子どもたちへの感染が著しく、県内医療逼迫などに鑑み、「まん延防止等重点措置」の指定を国に申請し、一月二二日から二月二日まで適用期間となり、県民皆様には、再び大変窮乏な日常を強いられることになりました。おきましては、二月六日に一九五人の感染者となり、感染公表は三十三日連続で三桁台は一日四連続となりました。吉村美栄子知事は、ラムダ株に比べて重症化率は低いものの、若者や子どもたちへの感染が著しく、県内医療逼迫などに鑑み、「まん延防止等重点措置」の指定を国に申請し、一月二二日から二月二日まで適用期間となり、県民皆様には、再び大変窮乏な日常を強いられることになりました。おきましては、二月六日に一九五人の感染者となり、感染公表は三十三日連続で三桁台は一日四連続となりました。吉村美栄子知事は、ラムダ株に比べて重症化率は低いものの、若者や子どもたちへの感染が著しく、県内医療逼迫などに鑑み、「まん延防止等重点措置」の指定を国に申請し、一月二二日から二月二日まで適用期間となり、県民皆様には、再び大変窮乏な日常を強いられることになりました。